



エコアカ通信2024



森のめぐみの体験学習

エコシステムアカデミー



2023年度の活動を振り返るとともに、本年度の「エコシステムアカデミー室」の取り組みについてご紹介いたします。

本年度は、2023年4月制定「三菱製紙グループサステナビリティ基本方針」に沿った推進活動として、体験型森林環境学習の場(体験型学習、森の調査・研究)を提供し、生物多様性に貢献しながらグループの企業価値向上と発展に寄与するための新たな活動方針を決定致しました。

具体的には、ビジターセンターである白河山荘と白河地区社有林(村火、欠入、赤仁田)を中心に体験型森林環境学習を提供して参ります。

また、白河山荘で実施する紙すき体験等のサポートスタッフとして「にしごう紙すきサークル」を立ち上げました。地元有志の方に参加いただき、楽しく一緒に自然や森、紙や環境のことを学習しながら紙すきなどの技術を身に付けて頂き、体験者のサポートを頂くサークルです。このサークル活動を通じてエコシステムアカデミー活動のサポーターとなってもらおうとともに、自らの社会参加の機会にもなっています。

更には三菱製紙が取り組むTCFD/TNFDと関連する生物多様性保全のための30by30に寄与する具体的な活動となります。

尚、30by30(自然共生サイト認定取得)の取り組みは、令和6年度前期申請を致しました。エコシステムアカデミー室はこれからも、三菱製紙グループのサステナビリティ推進活動の一つとして持続可能な社会づくりに貢献して参ります。

2023年度の環境学習イベント数18件、参加者数565人(大人:264人、子ども:301人)となりました。

<体験型森林環境学習の受入開始～2024年4月より>

- ・室内体験:森林環境学習、安全教育、紙すき体験等
- ・社有林体験:森林観察、植樹、育樹体験等。
- ・10名程度のプログラムです。
- ・受講料は、無料です。(備品等、費用は実費ご負担頂く場合があります。)
- ・集合・解散場所(白河山荘)までの往復交通費・宿泊費・食事などは、来場者様のご負担です。(集合場所 白河山荘の住所:福島県西白河郡西郷村大字真船字欠入 9-17)
- ・参加人数など、詳細は、事務局までお問い合わせ下さい。

【申し込み・お問い合わせ】 下記事務局までお気軽にお問い合わせください。

三菱製紙株式会社 コーポレート・ガバナンス本部 総務部 エコシステムアカデミー室
田村博之

(住所) 福島県西白河郡西郷村字前山西3番地

(電話) 090-2644-1238(9時～16時) (E-mail) ecoaca@mpm.co.jp

○2023 年度の活動を紹介します。

I 体験型森林環境学習

1. 白河地区での取り組み

1. インストラクター養成教育・新入社員教育

4/10-12 2023 年度インストラクター養成教育・新入社員教育を実施した。新入社員 7 名+既従業員 5 名が受講した。

2. 大里小学校・湯本小学校森林環境学習

6/21 那須甲子青少年自然の家にて、5・6年生児童 16 名を対象に、「私たちの生活と森林」をテーマとした森林環境学習を実施。

講義では、最初に森の多面的機能を話し、それを利用し続けられるようにするためには、森・木材・紙のサイクルをうまく回すことが大切なことを話し、それを受けて、N→L(抄き込み)→古紙を原料として紙漉き体験(深型木枠使用)を行った。

最後に森の動植物を描いたトランプ風カードでのチーム対抗戦を行い、サンショウのトロフィとボランティアの方が絵付けした木製メダルで表彰式を行った。



講義場所

紙すき場所



森・木材・紙のサイクルのジオラマ



輪切にした木に絵付けしたメダル



VS



対戦カードゲーム「葉っぱ de クエスト」

3. 西白河・東白川地区社会科研究部会研修

7/24 那須甲子青少年自然の家にて、西白河・東白川地区社会科研究部会教員 16 名を対象に、「私たちの生活と森林」をテーマとした森林環境学習を実施。講義では、森の多面的機能を話し、森を利用し続けられるようにするためには森・木材・紙のサイクルをうまく回すことの大切さを話し、後半は、村火社有林観察および樹木計測体験を行った。

4. 10/26 羽太小学校出前授業(対象:5 年生 8 名(当日 4 名))

テーマ:森林環境学習(講義:私たちの生活と森林、紙すき体験:針葉樹/広葉樹/古紙パルプ)を実施した。

前半の講義で森の働き、持続可能な森林資源とするための森のサイクル、木から紙ができる工程を理解し、後半では原料を変えて違いを確認しながら紙すきを行った。



5. 11/8 熊倉小学校出前授業(対象:5年生 2クラス 65名(1組33名、2組32名)
 テーマ:森林環境学習(講義:私たちの生活と森林、紙すき体験:針葉樹/広葉樹)を実施した。
 前半の講義(2クラス合同)で森の働き、持続可能な森林資源とするための森のサイクル、木から紙ができる工程を理解し、後半(クラス毎)では原料を変えて違いを確認しながら紙すきを行った。



6. 11/9 入社3年目(2021年入社)社員フォローアップ研修(対象:8名)
 「エコシステムアカデミー」の研修を通じて、森林保全の取り組みや環境保全等に関する体験教育を、白河山荘および村火社有林で行った。



- 10-11月で予定していたセカンドスクール(那須甲子青少年自然の家)での森林環境学習(8校)は、自然の家への落雷による被害(停電)復旧に時間を要するため全て中止となった。
 (セカンドスクール自体が全て中止)

2. 東京地区での取り組み

1. すみだ環境フェア

6/24-25 すみだリバーサイドホールにて、一般の方を対象とした「すみだ環境フェア 2023」にブース出展(エコアカ活動紹介パネル、紙バッグ作りワークショップ、除菌液・不織布マスクサンプル展示、FSC 絵葉

書・みどりの小道環境日記の配布)し、ステージワークショップでは FSC®認証白河だるまでの絵付け体験を行い、三菱製紙グループの環境への取り組みを PR した。

2. 水元公園夏休み自由研究講座「親子 de 森のめぐみと紙すき体験」

7/29-30 水元公園夏休み自由研究講座を実施し 37 名の親子が参加した。

アンケート結果を見ると多くの「大いに満足」をいただいた。

3. すみだ環境プログラム夏休み自由研究講座「森のめぐみと紙すき体験」

8/1 すみだ環境プログラム夏休み自由研究講座(講義:私たちの生活と森林/紙すき体験(N、L、古紙パルプ))を実施し 44 名の親子が参加した。アンケート結果を見ると多くの(95%)「とても面白かった(とても参考になった)」をいただいた。

4. 9/15 葛飾総合高校生(2-3 年生 20 名)を対象に自然観察会(水元公園)を実施した。

5. 10/1 水元公園「秋のクラフト教室」(45 分x4 回 対象:一般公園来場者 定員:30 名/回(実参加者総数約 90 名))にスタッフ参加した。各種ドングリや松ぼっくり、ツル、枝、木片などを材料として参加者が自由に秋の作品作りを行った。

6. 10/6 葛飾総合高校出前授業(対象:2-3 年生 20 名(当日 18 名) テーマ:森林環境学習(講義:地球環境と森林、紙漉き体験:針葉樹/広葉樹)を実施した。前半の講義で森の働き、気候変動と森との関係、持続可能な社会とするための森のサイクル、木から紙ができる工程を理解し、後半では原料を変えて違いを確認しながら紙すきを行った。

7. 10/22 千葉大環境 ISO 委員会森林環境学習(対象:学生 4 名+引率 2 名)(兼水元小自然観察会下見)を水元公園にて実施した。

8. 10/27 水元小学校自然観察会(対象:1 年生 3 クラス 99 名、テーマ:秋を感じよう)を水元公園にて実施した。クラス毎に異なるコースを巡り秋の公園の説明を聞きながらドングリや紅葉を集めた。集めたドングリや紅葉は学校での工作の材料となる。



II 森の調査・研究

1. 欠入社有林標準地毎木調査

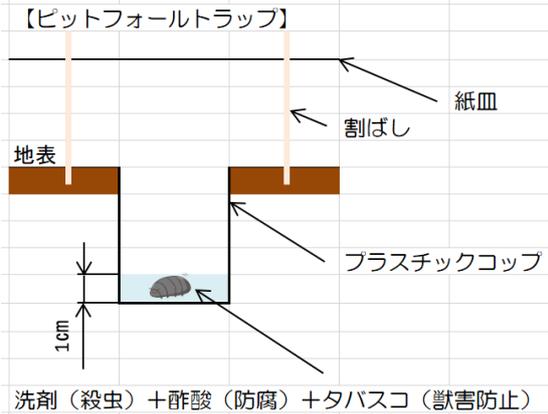
5/1、8、9にて、欠入社有林内に標準地(20m×20m×8か所)を定め、各標準地内の毎木調査(直径2cm以上の全樹木の樹種と直径を記録)し、現在の森の様子を明らかにする。

2. 土壌動物調査

9/11-14、村火社有林内5か所(各20点)での「土壌動物調査」を実施した。



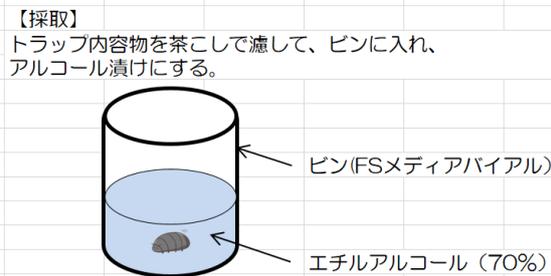
林内にセットしたトラップ



トラップの構成



採取ビン



採取ビンの構成

3. 村火社有林に生息する動植物観察記録用トレイルカメラのデータ回収を実施した。

(多数のニホンジカ、イノシシが撮影されている。)



4. 7/18-20 赤仁田社有林松くい虫被害木伐採作業を森林組合にて行った。



伐採前



伐採後

5. 7/12 村火社有林の生長の森の下刈り作業を実施した。



下刈り前(奥)



下刈り後(奥)

Ⅲ 森の育成・管理・利用

1. FSC-FM/-COC

外部委託先への FSC-COC 教育を実施した。

エコアカの FM 年次監査は 5/18-19(現地監査:七戸社有林)実施した。

COC年次監査は 6/28(現地監査はみなみ製材所)実施した。

Ⅴ その他

1. 本社ギャラリー展

5/2-31 エコアカの活動をパネルと森の循環/紙の循環ジオラマ・サンプル・資料類の展示で紹介した。

2. 安全・教育

林内作業時に蜂刺されによるアナフィラキシーショックの症状が出る可能性がないかを確認するために、5/1 蜂(ミツバチ、アシナガバチ、スズメバチ)アレルギー検査を実施した。

5/3 林内下刈り作業従事者の安全教育として、刈払い機特別教育を受講した。

9/8-9 チェーンソー特別教育を受講した。

「福島県もりの案内人」認定1名

自然観察会や森林づくり活動などを通して、一緒に学びながら森林の役割や大切さを、広く県民に伝えていくボランティアによる指導者で、福島県が認定を行っている制度。

3. 5/27、9/20 赤面山を緑にする会植樹作業に参加した。

4. FSC 古紙を利用した白河だるま

白河事業所からのプレスボード設備移転に伴い、FSC 古紙を利用した白河だるまの生産も継続が困難との判断より、新規検討および既存のリピートも含め終了とした。

5. 第13回環境セミナー実施

参加者

・会場スタッフを除き103名(内24名は各場所での集合聴講)であった。

アンケート結果

・総合評価としては、5点満点中4.3点をいただき、ほぼ満足した内容であった。



新年度の取り組みを紹介します！

●白河山荘での室内イベント「紙すき体験」を実施した。

2024年1月19日



●白河山荘での室内イベント「クラフト体験～手揚げ袋、だるま絵付け」を実施した。

2024年2月15日(木)

FSC 認証の説明を通じて、環境への取組姿勢を理解頂いた。



手揚げ袋を作りました。

だるま絵付け体験！

丸太を輪切した製品に
絵を描いている作品！

●白河山荘での室内イベント「紙すき体験」を実施した。

2024年3月14日



●2024年3月エコシステムアカデミー室「にしごう紙すきサークル」が発足しました。

室内イベント(紙すき経験者)のスタッフとして、ご活躍頂いております。

●2024 三菱製紙新入社員研修会～白河山荘、村火社有林

日 時 2024年4月8日(月)～9日(火)

来場者 三菱製紙新入社員24名

○村火自然観察～手入れした森、しない森の違いなどを説明。



○樹木計測～高さと太さを計測、樹木1本よりノート(200g/冊)が何冊作れるかを体験。



○植樹～ミズナラの苗木25本を植えました。植える事が必要と認識！



・苗木にいろいろなコメント(願い)を添えました。

○育樹～下刈り、枝打ち、丸太切り～鎌の使い方は難しい！！



○生長量調査(5地点)～樹木生長量を約1時間で計測した。



○私たちの生活と森林～紙すき体験

- ・森のサイクル(植樹～下刈/間伐～伐採～使う)の大切さ、木の種類による違い、ゴミ分別の必要性を理解頂いた。
- ・紙すきは、針葉樹、広葉樹、古紙と原料の違いを確認した。



ルーペで繊維を確認！



完成した「はがき」を手に！集合写真。 ボランティアの皆さんと！

○グループ討議「三菱製紙グループサステナビリティ基本方針」推進のために！

5班に分かれ約1時間15分でまとめ、発表後、各班より1つ以上のコメント(感想、質問など)を出し、質疑応答を実施した。

環境製品(FSC など)の開発、森林の活用と適切な管理、バイオマスエネルギーの開発、輸送の環境負荷低減対策など、推進のためのアイデアが沢山出された。また、自分事に向けて「個人の意識と行動！！」とのまとめもあり、充実した研修との感想をいただいた。



○みなみ製材所工場見学～建材へと加工する工程を見学した。



●福島県もりの案内人体験会～白河山荘、村火社有林

日 時 2024年4月14日(日)9時～12時

来場者 もりの案内人8名、ご家族5名計13名

○エコシステムアカデミー室の活動内容を説明後、紙の手提げ袋づくりを体験した。

○村火社有林へ移動。自然観察会、樹高計測、丸太切りを体験した。



以 上

【お問合せ先】

エコシステムアカデミー室 事務局(担当:田村博之)

(TEL)090-2644-1238

(E-mail)ecoaca@mpm.co.jp

必見！エコアカ森のめぐみのブログはこちらをクリック

<https://esa.matrix.jp/>

三菱製紙エコシステムアカデミー
ホームページはこちらから



<https://www.mpm.co.jp/ecosystemacademy/index.html>

三菱製紙 Green Webcast は
こちらから



<https://www.youtube.com/@greenwebcastmitsubishipa4678>

【発行】エコシステムアカデミー室 事務局 田村博之

【発行日】2024年5月

以上